

令和6年度

松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

会議資料

- 令和5年度～令和6年度の運営状況…………… 1～3
- 令和7年度運営方針（案）…………… 4～5
- 松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会委員名簿…………… 6

松江ホーランエンヤ伝承館

令和5年度～令和6年度の運営状況

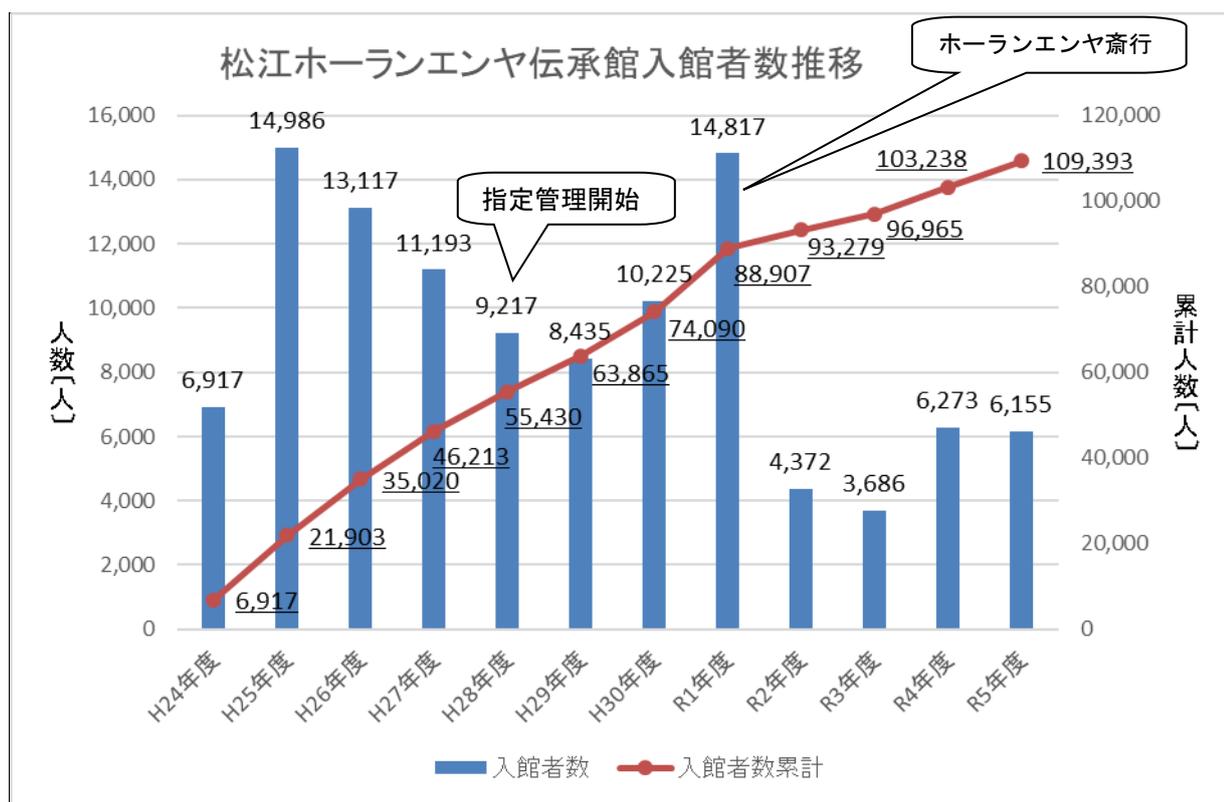
1 運営形態

●指定管理者による運営（一部は市の直営）

- ・指定管理者 株式会社さんびる
- ・指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日
- ・業務分担 学芸部門を除いた業務全般（施設管理、受付・案内、広報・誘客など）
- ・令和6年度の管理経費予算（単位：千円）

人件費	2,382
事務・事業費	710
施設維持管理費（光熱水費・修繕費等）	1,799
合計	4,891

2 入館者数



●令和5年度実績：6,155人（対前年98.1%）

→新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から「5類感染症」に移行となり、行動制限等もなくなったことから、入館者数は令和2年度・3年度のコロナ禍と比べると増加している。入館者数の79.5%の4,891人は松江歴史館の観覧者で、松江歴史館シングル観覧者数の13.5%（誘導率）を占める。前年度の誘導率は、15.9%であったため減少している。

●令和6年度実績（4月～12月）：5,775人（対前年117.4%）

→令和5年12月末時点4,918人と比べ令和6年度は857人増加している。特に11月は学校の観覧数の増加により、昨年度と比べ619人増加した。松江歴史館からの誘導率は20.2%で、令和5年12月末時点の17.1%と比べ伸びている。外国人の入館者数についても令和5年度よりも増加し、12月末時点182人（対前年146.8%）で、特に中国や台湾からが多かった。

3 主な取り組み

（1）教育普及

○松江城授業プロジェクト「松江城及び松江歴史館見学」（松江市教育委員会主催）

※全市立小・義務教育学校6年生を対象に実施

- 1) 児童向けリーフレット「松江ホーランエンヤ伝承館でホーランエンヤについて学ぼう！」を全員に配布
- 2) 松江ホーランエンヤ伝承館を見学した小学校
 - ①令和5年度見学数 13校 586人
(八雲小・大野小・出雲郷小・内中原小・古志原小・雑賀小・宍道小・忌部小・揖屋小・島根小・朝酌小・本庄小・来待小)
 - ②令和6年度見学数 19校 1,102人
(八雲小・大野小・出雲郷小・内中原小・古志原小・雑賀小・宍道小・忌部小・揖屋小・島根小・朝酌小・本庄小・来待小・持田小・大庭小・秋鹿小・玉湯学園・津田小・川津小)

○出前講座

学校教育課を通し、松江市内の小学校へホーランエンヤについて松江歴史館職員が出前講座を行う旨を周知した。総合的な学習の一環として講座の申し込みがあり、職員が説明を行った。

- ①令和5年度 2校 竹矢小学校（3年生）、朝酌小学校（3年生）
- ②令和6年度 1校 竹矢小学校（3年生）

○インタビューの対応

インタビューの依頼があり、職員が対応をした。

- ①令和5年度 3校 美保関中学校、浜山中学校、玉湯学園
- ②令和6年度 9校 松江市立第2中学校、松江市立第3中学校、松江市立第4中学校、湖南中学校、美保関中学校、玉湯学園、安来市立第2中学校、母衣小学校、松江清心養護学校

（2）展示

○令和5年度

令和3年3月に記録選択された「松江のホーランエンヤ」の概要について紹介したパネルを展示室内に設置した。

○令和6年度

- ①令和元年開催されたホーランエンヤの櫂伝馬船や剣櫂・采振りを描いた色鉛筆画を紹介する展示を計画（中止）
- ②采振りや剣櫂の衣装の着付体験の実施

(3) 情報発信

○令和5年度

ホームページに大正4年以降に実施されたホーランエンヤの写真に掲載し、情報発信を行った。

○令和6年度

①ホームページに松江のホーランエンヤの記録選択について、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（以下、「記録選択」という）の制度概要と内容について掲載し、情報発信を行った。

②ホームページに平成21年・令和元年のホーランエンヤの様子を撮影した動画を掲載した。

(4) 施設の維持管理

○令和6年度

中庭の権伝馬船の塗り替え・酒樽の台座の部分修理を行った。



着手前



着手後



着手前



着手後

松江ホーランエンヤ伝承館

令和7年度運営方針（案）

市民に親しまれる施設を目指し、関心や理解が深まるような取り組みを引き続き行うとともに、効果的な広報を行い、入館者数の確保に努める。

次期ホーランエンヤの催行に向け、機運を高める取組みを計画的に行っていく。

館全体の運営方針

※松江市

○入館料の料金改定について

松江市では「公共施設使用料設定の基本方針」に基づき、3年ごとに市有施設の使用料の見直しを図っている。近年の光熱費・労務費の上昇に伴い、維持管理費が増加する中で、施設を継続して維持していくために、入館料を令和7年4月1日より改定することになった。また、市民への負担軽減・暮らしの充実の観点から、入館料については、市民割引を導入する。改定後の料金は別紙（1）のとおり。

○入館料の減免基準の見直しについて

本市が所管する松江城周辺の観光施設の減免基準を参考にして、学校の入館料の減免対象について令和7年4月1日より下記のとおり一部改正を行う。

[改正内容]

小学校、中学校及び義務教育学校の児童若しくは生徒若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて松江ホーランエンヤ伝承館に入館する者並びにその教職員の入館料の減免については、これまで市内外対象にしていたが、松江市内の学校に限定する。

教育・普及

※松江市

引き続き松江城授業プロジェクトでリーフレットの配布・見学案内を行う。

展示

※松江市

○多目的スペースの展示替え

・多目的スペースの展示替えの計画を立て、実施していく。

○ホーランエンヤ VR の活用

利用促進

※指定管理者

○HP、SNSの積極活用による施設情報の提供

○営業訪問・広報による利用促進

（県内外の旅行会社、観光関連施設などへ訪問予定）

○館内案内表示（インバウンド客向け含む）などの随時改善

○誘客イベントの開催

○宿泊施設、観光施設等との連携

（松江城国宝10周年とNHK朝ドラ「ばけばけ」関連含む）

○松江歴史館観覧者の伝承館への誘導強化

施設管理

※指定管理者

- 委託業者と連携し、設備機器・庭園管理など仕様に沿って適切に維持管理を行う。
修繕する際は、松江市と協議した上で実施する。

接客・対応

※指定管理者

- 施設アセスメントの実施（年2回）
- 外部講師による接客研修内容の確認

松江ホーランエンヤ伝承館運営協議会

委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	備 考
委員	飯塚 真敏	伝承ホーランエンヤ馬潟権伝馬保存会副会長
委員	松浦 哲次	伝承ホーランエンヤ矢田保存会長
委員	野津 照雄	伝承大井ホーランエンヤ保存会長
委員	稲場 英司	福富ホーランエンヤ保存会長
委員	古藤 弘巳	大海崎伝承ホーランエンヤ保存会長
委員	安部 登	元松江郷土館長
委員	松浦 俊彦	松江商工会議所専務理事
委員	浅沼 政誌	松江市文化スポーツ部文化財課 歴史資料専門調査員

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日